

## 4つの重点医療の概要

## 1 救急医療

## (1) 診療体制（休日時間外）

ER（救急科）；勤務医師2人以上

内科系・外科系・小児科・産婦人科；当直医師1人以上、オンコール医師1人以上

※オンコール医師とは、必要時に駆けつけられるよう待機している医師のことです

## (2) 患者数（24年4月～25年2月）

休日時間外（1日平均）；40人

救急車搬送（1日平均）；16人

## (3) 施設整備等の取り組み

血管造影撮影装置の更新（24年6月完了、7月稼働開始）

ICU改修工事（24年7月完了、8月稼働開始）

内視鏡センター改修工事（24年12月完了、25年1月稼働開始）

救急室拡張工事（24年11月完了、25年1月稼働開始）

## 2 小児医療

## (1) 診療体制

常勤医師；6人（25年4月より8～9人）

非常勤医師；7人（常勤換算約2人）

## (2) 患者数（24年4月～25年2月）

外来（1日平均）；31人

入院（1日平均）；11人

## (3) 施設整備等の取り組み

小児科外来にプレイルームを設置

小児科病棟の感染症対策として、病室に手洗を設置

小児科病棟のセキュリティー対策として、病棟入口に扉、インターホンを設置

### 3 周産期医療

#### (1) 開院以来の流れ

- 24年4月 妊婦健診受付開始、常勤医師2人体制
- 24年9月 分娩受付開始、常勤医師3人体制
- 24年10月 周産期セミオープンシステム事業開始  
(24年12月1日以降出産予定の方を対象に登録受付開始)
- 24年10月 練馬区周産期医療連携推進会議
- 25年1月 常勤医師4人体制

#### (2) 診療体制

- 常勤医師；4人
- 非常勤医師；3人
- 休日夜間；当直医師1人、オンコール医師1人

#### (3) 分娩件数

- 実績（24年9月1日～25年3月20日）；29件
- 今後の見込
  - ・ 25年4月以降、月間10～20件程度
  - ・ 25年度（25年4月～26年3月）は200件程度の見込

#### (4) 施設整備等

- LDR  
妊婦さんの療養環境向上のため、分娩室をLDRとして2室整備  
※LDRとは、陣痛（Labor）から分娩（Delivery）、回復（Recovery）まで1室で過ごせる部屋のこと。妊婦さんの移動を不要とし、リラックスできる家庭的な環境で過ごしていただくというコンセプトのものです。
- 新生児室  
セキュリティ対策として、ナースステーションと隣接して設置
- 練馬区周産期セミオープンシステム事業（練馬区からの委託事業）
  - ・ 事業目的；区内にて安心して出産できる環境の整備及び周産期領域における地域医療連携の推進
  - ・ 事業内容；地域の産科診療所等の登録医療機関において妊婦健診を受けた妊婦さんの分娩に対応しています。概ね32週までは登録医療機関にて妊婦健診を受けいただき、それ以降の健診及び分娩に対応いたします。
  - ・ 現在、5医療機関が登録

#### 4 災害時医療

- 災害拠点病院としての役割を継続します。
- 東京都及び練馬区の防災計画に則り、地域の防災訓練その他の活動に協力します。
  - ・光が丘第三アパート総合防災訓練（平成24年10月14日（日）参加）
  - ・光が丘第四中学校医療救護所訓練（平成24年11月17日（土）実施）
  - ・開進第三中学校医療救護所訓練（平成25年1月26日（土）参加）
  - ・光が丘公園防災訓練（平成25年2月17日（日）参加）
- 事業継続計画（BCP）を策定し、想定される災害に対応できる体制を構築します。
- 近隣に職員宿舎を整備し、災害発生時において一定数の医師、看護師等の医療専門職に対応できる体制を構築します。